



マウイ島火災リカバリー

あなたの敷地の土壌を安定させる - 予期される事柄

2023年11月1日

マウイ島は私たちに多くの恩恵をもたらしてくれました。
その感謝の気持ちを込めて、今、私たちは支援することを誇りに思います。

- EPA チームは、地元当局と連携して、灰に土壌安定剤を散布します。
- EPA は、住民の帰還可能になる時期の前後に、この安定剤を土地に散布する可能性があ。

土壌安定剤**散布前**に行われること:

- EPA チームは、敷地とその周辺に野生生物、飼料・餌、植物などがいないかどうかを確認します。
- 歴史的建造物、文化的遺物、先祖代々の遺灰があるとされる場所に噴霧されないよう、文化モニタリング担当者がチームに同行し確認をします。

土壌安定剤**散布後**に目に映るもの:

- 噴霧された材料の表面に、薄く透明なクラスト。
- 容易に砕ける、透けて見える薄いクラスト。
- 乾燥状態では無害の土壌安定剤。



灰や瓦礫には、人の健康や環境に影響を及ぼす可能性のある有害な汚染物質や高い pH が含まれています。焼失区域に再入場する場合は、提供されている防護具を着用し、再入場パッケージを十分に確認するなど、自分自身や他人を守るために必要な予防措置を講じてください。



回収物の表面からソイルタック® を除去するには、温水で洗い流すか、表面を蒸してから柔らかい布で拭いてください。



周囲に灰が舞い上がる焼失地区内での作業員の写真；写真はソイルタック散布前に撮影されました。



"ソイルタック散布後の焼跡での作業員の写真；舞い上がる灰は見えません"。

噴霧されるもの・場所

- ✓ 第2段階で米国陸軍工兵隊によって除去される灰の痕跡
- ✓ 特定の車のボンネットの下、インテリア部分とその周辺
- ✓ 敷地内に残留、かつアスベストの混入が疑われる建造物の一部

噴霧されていないもの・場所

- ✗ 建造物の痕跡の外側の敷地で、灰を含まない場所（庭や私道など）
- ✗ 植物および作物
- ✗ 飼料・餌
- ✗ 歴史的建造物、文化的遺物、先祖代々の遺灰があるとされる

よく寄せられる質問

土地所有者や住民は土壌安定剤の散布を拒否することができますか？

いいえ。人々の健康と環境を守るため、ラハイナで被害を受けたすべての土地（文化的に重要な地域を除く）の灰の痕跡に土壌安定剤が適用されます。

ソイルタック®は人体に有害ですか？

EPAは、ソイルタック®の成分を確認するために審査を行った結果

- 乾燥状態では無害の土壌安定剤

- 人の健康や環境を保護する上で、土壌安定剤の散布は、灰や瓦礫をそのまま放置するよりも効果的です。

ソイルタック®はマイクロプラスチックですか？ もし、マイクロプラスチックならば、環境を汚染することはないですか？

- ソイルタック®（乾燥・硬化した状態）は連邦政府の定めるプラスチックの定義に該当します。但し、EPA は当製品がマイクロプラスチックとみなされるほど小さな破片に分解されることはないものと考えています。
- ソイルタック®は、洗浄第2段階において、すべての灰とがれきとともに除去され、安全に処理がなされます。

EPA の活動に関する詳細は、下記にお問い合わせください。：

☎ EPA 電話番号: 808-539-0555

✉ EPA メールアドレス: R9Wildfiresinfo@epa.gov

🌐 EPA ウェブサイト: epa.gov/maui-wildfires